

# 霊の賜物の発見

## ◆霊の賜物に関する新約聖書の探究

- 第一部 もてなし、ローマ二二章
- 第二部 勧告、コリント第一・一二章
- 第三部 教え、コリント第一・一二章、エペソ四章
- 第四部 知識、殉教、見分ける力(洞察)、信仰
- 第五部 慈善、知恵、指導、牧会(羊を養う)
- 第六部 伝道、助け(奉仕)、使徒、寄付
- 第七部 行政管理、とりなし、外国伝道(宣教)、預言

著者、ロイ・C・ネイテン  
(アンドリウス大学宗教教育部準教授)

発行所

世界総会チャーチ・ミニストリー部

翻訳・発行

セブンスデー・アドベンチスト教団

## 第五部

### 羊飼

ある日の午後遅く、スコットランドの丘陵地の小さな湖で羊たちに水を飲ませている何人かの羊飼いたちに、一人の旅行者が好奇心にかられて声をかけました。しばらくのあいだ一緒におしゃべりをしたあと、羊飼いは一人また一人そしてまた一人と、羊たちを呼んで違う方向へ向かって行きました。旅行者がびっくりしたり喜んだりしたのは、羊たちがちゃんと自分たちで分かれて、自分の主人の呼び声に従って行ったことでした。旅行者は残っている羊飼いに、「羊は知らない人について行ったりしないのですか」とたずねました。「いいえ」と羊飼いは答えました。そして、ちよつと口もつてからこう言いました。「いや、たまにはついて行きますね。でも、それは病気の時だけです。」

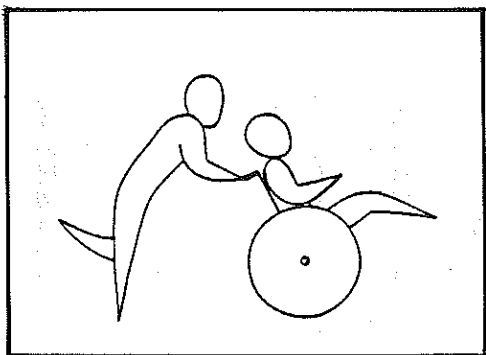
健康な羊たちが常に羊飼いの呼び声に応じるとすれば、その群れを正しい方向に導くことは、羊飼いにとって何と重い責任でしょう！そして、病気の羊が見知らぬ人の呼び声について行ってしまふことがあるとすれば、羊飼いにとって、霊的に苦しんでいる者のすぐそばにいることは、いかに重要なことでしょうか。それはすべて牧師職の役目です。それこそ、霊的賜物すべてにかかわるテーマなのです。

## 慈善の賜物

「わたしたちは与えられた恵みによって、……慈善をする者は快く慈善をすべきである」(ローマ二二ノ六―八)。

### 1、慈善の原語の意味

名詞エレオスは新約聖書の中で二八回使われており、常に「mercy」、「慈善、あわれみ」と訳されています。動詞はもう少しはつきり説明をしていて「同情する、あわれみをいだく、慈善をする」と訳されています。聖書の中でエレオスは人の子たちに対する神の慈悲をあらわすことばとしてほとんど用いられています。ほんの時たま他の人々に対する私たちの慈善を示しています。



## 2、回復された慈善の賜物

ヨッパの教会で非常に愛されていた教会員の一人ドルカスは、突然病気になるまで、慈善の働きができなくなっていました。神様はドルカスをお召しになって、困っている人に着るものを与えさせていらっしゃったのですが、ドルカスの愛情に満ちた奉仕は、イスラエルの地中海沿岸のあちこちでよく知られていました。

ドルカスが病気になるころ、サマリヤでピリポを手助けしていたペテロとヨハネがエルサレムへ戻ることにしました（使徒行伝一ノ八）。

しばらくして、ルダにいたとき、二人は、わずか一〇マイル離れたヨッパにいる信者たちから、ドルカスが死んだという知らせを受けました。そこで海への町へ急いで行ってみると、ドルカスの葬儀の準備がされていました。

しかし、ペテロは、そのいやしの賜物によって、この婦人を再び生き返らせたのです。教会員たちは、慈善の賜物が再びヨッパの海への町を祝福してくれることを喜びました。

## 3、慈善の賜物の五つの面

エレオス“marcy”「慈善」は、新約聖書の次のような箇所に見い出されません。

## 5、賜物の誤用

助けを必要としないのに、ずうずうしく慈善深い人たちをえじきにして賜物を浪費する者がいます。ときには教会の中にもそのような人がいることがあります。こんなとき、この賜物は誤って用いられることになりません。また、与える側に優越的な態度を呼び起こしたり、受ける側に劣等感を持たせるとき、それは目標を誤っていることになります。

## 6、デイスカッション

a 近年、障害者たちは政府機関から遅ればせながらかなりの承認や援助を受けるようになりました。この傾向は、慈善の賜物の行使にどのような影響を与えるのでしょうか。教会の応答はどのようなものであるべきでしょうか。

b もしも今あなたの教会でだれも慈善の賜物を働かせていないとすれば、それは、その働きに対する必要がないということの意味するのでしょうか。あるいは、人々がその賜物に気づいていないということの方があり得ることだと考えられますか。教会の管理の責任をもつ人たちはそのような状況に熱意をもって対処すべきでしょうか。それとも、それは聖霊の導きにまかせるべきでしょうか。

a 慈善の賜物は非常に実際的なレベルで働く（ヤコブ二ノ一三—一六）。

b 慈善の賜物の行使はしばしば肉体的に苦しんでいる人々を助ける（ルカ一〇ノ三〇—三七）。

c 慈善の賜物は、常に与える側の喜びを伴って働く（ローマ二ノ八）。

d 慈善の賜物はしあわせをもたらす（箴言一四ノ二二）。

e この慈善の賜物を行使するとき、この賜物をもつ者の広い心または犠牲を要求することがある。この賜物には非常に積極的な他人に対する心づかいがみられる（ルカ一〇ノ三〇—三七）。

## 4、定義

慈善 「他の人々、とりわけ障害のある人々や、身体機能を奪われた人々、『見捨てられた』人々の気持ちや要求に同情し、慰めや恵みをもたらすやり方で助けをさしのべる霊の賜物。」

## 7、慈善の賜物の確認

もしもあなたが自分は慈善の賜物を持っていると考えるならば、次にあげるいくつかの示唆と問いを考えてください。あなたはボランティアとして、身体障害者のために奉仕を申し出たことがありますか。あなたは、身の回りのことが十分できない人々を助けるために引っぱり出されますか。あなたの援助を受けている人々は、あなたの援助や友情に心からあなたをかきかきを感じていますか。目の見えない人々に本を読んであげたり、その人たちを一日レクリエーションにつれ出してあげたりすることに、あなたは時間をさくことができますか。アル中患者を救う会のボランティア活動を喜んでできますか？病人、とりわけ定期的におとずれてくれる家族や友人のいない病人を、病院に見舞いに行つてあげようと考えたことがありますか。花や食べ物や洗たく物の援助ができますか。これらは、慈善の賜物を与えられている人々がたやすくできる活動です。

# 知恵の賜物

「ある人には御霊によって知恵の言葉が与えられ」（コリント第一・一二ノ八）。

## 1、知恵の原語の意味

ギリシャ語のソフィアは、新約聖書の中では「知恵」とだけ訳されています。形容詞ソフォスの元の意味は、「見識のある、洞察力のある、聡明な、分別のある」です。

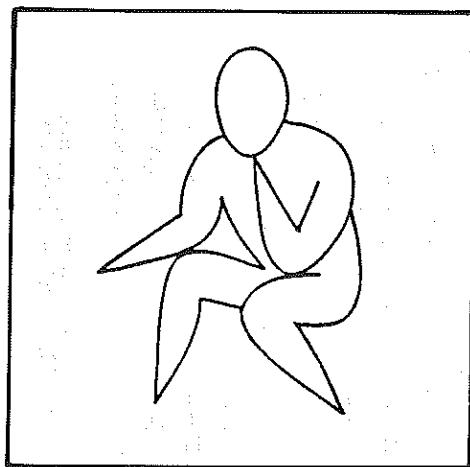
パウロは、クリスチャンの知恵は、クリスチャンでない人からは愚かさに見える、と言っています。

## 2、行為に表された知恵

神は、知恵においてソロモンと並ぶ者は二度と現れないだろうと言われました。したがって、列王紀上三章に記録されているものよりもすぐれた説明を見出すのは困難でしょう。あなたは、同じ家で暮らしていて、三日違いで子供を生んだ二人の女のことを思い出されると思います。生まれて間もなく、赤ん坊の一人が夜のあいだに死んでしまいました。一方の母親は、闇にまぎれて子供をすりかえたと言って、もう一方の母親を告発しました。そこで二人は、生きている赤ん坊

は自分のものだと主張して、ソロモンのところへやって来ました。

ソロモンは刀を持って来させると、生きている赤ん坊を二つに切って母親たちにそれぞれ半分ずつ与えると宣言しました。するとたちまち本当の母親が、殺されるよりは、たとえ別の母親のむすこになっても生きている方がいいと言って、赤ん坊を別の母親のところへ行かせることに同意しました。子供は自分のものだとそうをついていた母親は、ソロモンの命令に同意しました。ためらうことなく、王は生きている子供を最初の母親の方に渡しました。



## 3、知恵の賜物の五つの面

次のa、c、dおよびeに示されている新約聖書の聖句はすべてソフォスあるいはソフィアという言葉を用いていますが、bは、この言葉を用いず、ただ知恵というものの特性を描いています。

a 知恵の賜物は、本質的に実際的な分野で行使される（ヤコブ三ノ一三）。

b 知恵の賜物は、しばしば、正しい質問をすることによって明らかにされる（ルカ二ノ四六、四七）。

c 知恵の賜物は、指導者たちや管理者たちによって所有されている一群の賜物の中に期待される（使徒行伝六ノ三、申命記三四ノ九）。

d 聖書の原則の理解は、知恵の賜物に絶対必要なものである（テモテ第二・三ノ一五）。

e 知恵の賜物を与えられている者は、純潔、優しき、親しみやすき、あわれみ、公平き、正直きなどを含む、他

の一群の特性ももっている（ヤコブ三ノ一七）。

## 4、定義

知恵 「分裂を最小限に食い止めて全体に調和と成長をもたらすような実際の助言を、個人やグループに与えるにあたって知覚される霊の賜物。」

## 5、賜物の誤用

助言を与える人が、他の人々が聞きたがる以上に話した場合、その人はおそらく賜物を有していません。賜物を本当に与えられていない人は、困難と損害をもたらす一連の行動に教会を導き、キリストのみわさを傷つけることとなります。

## 6、ディスカッション

a 知恵の賜物を持つだれかの助言を、どのようにして委員会の決定と比較して、どちらが正しいかを判定できま

b どのような特別な状況にあって、知恵の賜物は、あなたの教会にとって最も恵みとなるでしょうか。どうすれば教会のメンバーは、これらの状況における賢明な助言

から、より大きな利益を受けるでしょうか。

c 知恵の賜物は静的なものでしょうか。それとも、その賜物は、個人の成熟と経験によって発展するのでしょうか。あなたの答えは、賜物の概念とどのように一致しますか。

## 7、知恵の賜物の確認

あなたが知恵の賜物を有している可能性を探るのに役立ついくつかの質問をしましょう。

重要な助言を必要としている人々はあなたを求めますか。委員会は、重要な問題について採決する前に、あなたにコメントを求めますか。ある行動路線の結果としてあなたが予見したことは、たいして正しかったですか。若い人たちはあなたのことを、自分たちを理解してよい助言を与えてくれるメンバーとして認めていますか。たとえ人々の状況について何らかの不快な「事実」を告げなければならぬ時でも、あなたは受容される方法で人々に助言することができますか。

## 指導の賜物

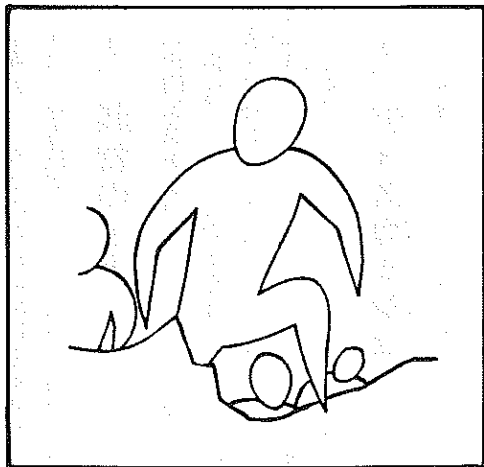
「わたしたちは与えられた恵みによって、…指導する者は熱心に指導し、…」(ローマ二ノ六八)。

### 1、指導の原語の意味

「Leadership」「指導」という言葉は、二つのギリシャ語に由来しています。第一はプロ「in front of」「の前に」で、第二はヒステーシ「to stand」「立つ」です。したがってこの二つを合わせて「堅く立つ」あるいは「永久に立つ」、「根気よく立つ」、「指揮する」、「保持する」、「支配する」などの意味となります。ですから、指導者というのは、「堅く、そして根気よく他の人々の前に立つ人」ということになります。新約聖書では、七回のうち五回動詞形が用いられていて、「to rule」「治める」と訳されています。

### 2、行為に表された指導

新約の教会は、問題点が明白になってやっと誕生しました。あまりにも多くの要求があって、使徒たちにとって、あらゆるメンバーの必要を包み込むことは困難でした。ギリシャのこじや言葉を取り込んで育ったパレスチナの外で生まれたユダ



ヤ人たちの多く、とりわけ未亡人たちは、ひどく無視されました。こうした状況は、何らかの組織的行動を必要としました。

一二人の使徒たちは教会のメンバーを呼び集めて、ギリシャ語を話すユダヤ人の未亡人たちの世話をするために、七人の人が指名されるべきことを提案しました。こうして、地域の指導者の役割をする七人が選ばれました。みな「誠実である」という評判の、聖霊と知恵に満ちた「人々でした。間もなく殉教者となるステパノを含むこれらの人々は、任命されて

仕事に取りかかりました。

この一連の行動の結果、「神の言は、ますますひろまり、エルサレムにおける弟子の数が、非常にふえていき、祭司たちも多数、信仰を受けられるようになった」のです（使徒行伝六ノ七、八）。これこそ神を敬う指導の確かなしるしです。

### 3、指導の賜物の五つの面

a、cそしてdにあげられている聖句は、「指導者」という意味の語プロイステームという形を用いています。bとeは、指導者たちの働きと態度を説明しています。

a 私たちは指導の賜物を持つ人々を重んじなければならぬ。なぜなら、彼らは主にあつて「私たちを指導して」いるからである（テサロニケ第一・五ノ一二）。

b 指導の賜物を持つ人々は、これが、世俗的な「権力」ではなく、「奉仕者であること」を理解すべきである（マタイ二〇ノ二五―二八）。

c 家庭における指導に成功することは、教会において指導の賜物を使用することに先だつて必要である（テモテ第一・三ノ二―五）。

ようか。それは駆け引きでしょうか。教会の運営において、てきぱきした処理に欠けるからでしょうか。忙しすぎるのでしょうか。他の理由でしょうか。説明してください。

b 強い指導力がないと、調停したり、建設したり、助言したり、組織作りをしたり、激励したり、動機づけをしたりする人はいなくなるだろうと、私たちは考えがちになります。言いかえれば、強い指導力がないと、地方教会はつぶれてしまうのではないかと考えがちなのです。もしも、信仰や、伝道精神や、知恵や、勧めや、教えや、牧会などの他の賜物が、すべて存在するとすれば、そのことはどのように起こり得るでしょうか。

### 7、指導の賜物の確認

もしもあなたが指導者としての賜物を与えられているのではないかと思われるならば、次にあげる示唆と問いを考えてください。

あなたには、指導を与えたいという強い願望がありますか。教会員たちはあなたに、あなたの計画は論理的かつ実際的で実行可能であると言いますか。教会員たちは、あなたが指導するとき、あなたのあとに集まってついで来ますか。責任を

d 賜物を与えられた指導者たちは、本職であれ素人であれ、熱心さと真剣さを持って、自分たちの責務に身を投じる（ローマー二ノ八）。

e 神を敬う指導者たちは、メンバーたちの霊的ならびに身体的幸福に、深く関与する（ヤコブ五ノ一四）。

### 4、定義

指導力 「教会のために目標を確立し、成長と調和をもたらすような方法で、人々の仕事を指導する、霊の賜物。」

### 5、賜物の誤用

政治的思惑が霊のうながしよりも勝るとき、それは悲劇です。指導者が自分の考えを唯一の考えとみなして、それを他の人々に押しつけるときも、同様に悲惨です。指導者はわずかに先を行くべきであつて、あまりにも先を行くべきではありません。

### 6、デイスカッション

a 賜物を与えられている人々の中に、地方教会の指導者の地位を引き受けることをしるぶる人があるのはなぜでしょうか。いい気分ですか。教会の中で何が起こつても、あなたは常に指導者となる傾向がありますか。あなたは、教会の運営の何らかの面で指導者となるよう、定期的に求められますか。あなたは、あなたの計画を実現するのに成功したことがありますか。あなたが提案した計画は、たいいてい、あなたが希望し計画したりやり方で達成されてきましたか。あなたの教会の教会員たちは、あなたの指導を支持してくれましたか。あなたは、あなたの計画の成り行きのために、責任を負う用意がありますか。

# 牧会の賜物 (羊を養う)

「彼は高いところに上った時、……人々に賜物を分け与えた。……ある人を牧師……として、お立てになった」(エペソ四ノ八一―)。

## 1、「羊を養う」の原語の意味

ギリシャ語のポイメンは、"shepherd"、「羊飼い」を意味し、新約聖書に一八回用いられています。そのうち一七回は「羊飼い」と訳され、そのうち六つはイエスを、四つは、ベツレヘムの羊飼いを指しており、また、六つは指導者の象徴的表現となっています。「一回だけ「牧師」と訳されたところがあります(エペソ四ノ一一)。おなじ語源から出た動詞は、「養う、世話する、治める、育てる」を意味します。ギリシヤ語の興味深い解釈の一つは、この賜物が事実上牧師もしくは教師であることを示唆していることです。この理由から、ピリポは、エペソ人への手紙四章一節を、「ある人を牧師、教師としてお立てになった」と訳しているのです。

## 2、行為に表された「羊を養う」賜物

第三次伝道旅行から、エルサレムへ戻る途中、パウロはミ

できるようになるために、まず自分自身を養わなければならない。そして、このことは、勤勉な学習を必要とする(テモテ第一・四ノ一三―一六、テモテ第二・二ノ一五)。

b 「羊を養う」賜物を持つ者は、主なる牧者がなさったように、「群れ」を養い、導く(イザヤ書四〇ノ一一、ヨハネ二一ノ一六)。

c 「羊を養う」賜物を持つ者は、健全な教理をおしえる(テトス一ノ九)。

d 「羊を養う」賜物を持つ者は、教会のメンバーの対外的な活動の方策をたてる(エペソ四ノ一一)。

e 「羊を養う」者として純粋な賜物を与えられている者は、他の教会員のよい模範となる(ペテロ第一・五ノ一―三)。

## 4、定義

「羊を養う」賜物 「教会の個々のメンバーの必要に、直接また間接に奉仕する、誠実な『羊飼い』たるべき霊の賜物。」  
この賜物について論じるとき、私たちは牧師の公職と「羊

レトに立ち寄って、そこからエペソの教会の指導者たちへ、自分を訪ねて来るようにというメッセージを送りました。これはパウロが彼らに語りかける最後の機会になるはずでしたから、パウロは、いくつか最後の助言の言葉を申し出たいと思いました。

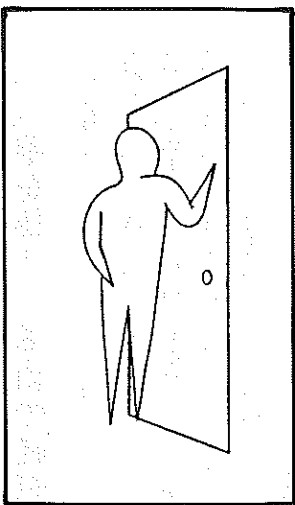
使徒行伝二〇章二八―三五節には、エペソの信徒の牧師たちへのパウロの教えがあります。その牧師たちは、「おおかみ」が襲って来るかもしれないので(二九―三一)、人々に気をくばり、(二八)、とりわけ弱い者たちを(三五)、助けなければなりません。

まごころを込めた訴えのあと、パウロは、これらの信徒教役者たちといっしょにひざまずいて、献身の祈りをささげました。そして、パウロは去り、二度と再び戻りませんでした。記録に残されたパウロの助言は永久のものとなり、あらゆる場所で群れを守る羊飼いたちに適用されているのです。

## 3、「羊を養う」賜物の五つの面

次にあげる聖句のうち、dはポイメンを用いており、a、b、cおよびeは、牧師もしくは羊飼いの仕事を説明しています。

a 「羊を養う」賜物を持つ者は、ほかの人々を養うことができるように、まず自分自身を養わなければならない。あなたの教会の牧師は重要な一連の賜物を有しているでしょう。それには、指導や、教えや、勧めや、知識の賜物が含まれているかもしれませんが、しかし、「羊を養う」賜物は含まれていないかもしれないのです。あなたの教会が非常に小さいものであれば、牧師が「羊を養う」賜物を有している可能性は高いでしょう。しかし、あなたの教会が非常に大きければ、牧師が信仰や管理の賜物を持っていても、「羊を養う」賜物を持っていないということもあり得ることなのです。そこで「羊を養う」賜物を持つ信徒に頼らなければならないのです。そして、一対一で教会員を養ったり導いたりする大きな責任をもつこととなります。「羊を養う」賜物なしに牧師職を保持している牧師や、繁栄する教会を管理している管理者がおおぜいいるのです。



## 5、賜物の誤用

エゼキエル書三四章一―六節には、バビロニアの捕囚のあいだに生きた、六世紀の牧者たちへの痛烈な非難が含まれています。このくだりに従えば、羊飼いは、次のような場合にその召しを悪用することになります。

- a 群れではなく自分自身を養う。
- b 傷ついた羊の世話をするのを怠る。
- c 迷う者を無視する。
- d 教会員を支配する。(従属を促進する)
- e さまよう者をさがすのを怠る。

## 6、デイスカッション

a ロバート・シュラーのクリスタル・カテドラルのような大きな教会は、すべての家族に奉仕する賜物を与えられ、訓練を受け、巧みに組織化された信徒たちによって、どの程度まで育ってきたと思いますか。どのくらいがカリスマ的牧師の影響のおかげであると言えるでしょうか。

b 「羊を養う」賜物をもつ信徒が、現在あなたの教会で奉仕しているという証拠がありますか。もしあれば、どんなやり方ですか。もしなければ、なぜですか。

## 7、「羊を養う」賜物の確認

もしもあなたが「羊を養う」賜物を有しているかもしれないと思うならば、次にあげる質問を考えてください。もしもあなたがその大半に「はい」と答えることができるならば、あなたの教会を管理している人たちの一人と話して、あなたの自覚していることを伝えてください。

あなたは、人々と一対一で話して、クリスチャンの直面する日々の問題を話し合うのが好きですか。ある行動の結果として起こることへの見通しや、困難の解決において、あなたは洞察力がありますか。そのことが、相談にのったり、励ましたり、食べ物を与えたり、育てたり、動機づけを与えたりするための月に一度の訪問を必要とするかもしれないことを理解した上で、これから一二月のあいだ、信徒牧師として、六ないし八家族の世話をする責任を引き受けてもいいと思いますか。家族礼拝や、個人的献身、そして、主イエスへの献身について、気持ちよく話すことができますか。あなたの仲間の教会員たちが毎週毎週出会う問題に、聖書の原則を適用して話してやることができますか。

## 終わりに

この冊子の中には、一時間では論じきれない非常に多くの資料があります。ですから、あとでその資料、とりわけあなたが持っているかもしれないと思っている賜物と関連のある項目に、戻って考えてみてください。前後関係を確かめながら各章をくり返しくり返し読んでください。

ある特定の賜物を持つ人は、その分野について、その賜物を持っていない他のメンバーを越えた能力を有していることを覚えてください。賜物を与えられるということは真実です。そして、さらにまた、つぎのことからによって、あなたは自分の賜物の有無を発見するのです。

- \* 研究 (学習)
- \* 祈りに満ちた実地演習
- \* うまくいく体験
- \* 特定の奉仕における幸福
- \* この特定の奉仕においてあなたが働くときの仲間の人々が肯定してくれること

## 予習

学習ガイド第六部では、伝道、助け、使徒精神、そして寄付の賜物について探究します。探究すべき問題のいくつかはつぎの通りです。

- 教会の中で何人位が伝道の賜物を持っていると思いますか。大半の人々でしょうか。多くの人々でしょうか、わずかな人々でしょうか。
- 伝道の賜物は、まず第一に大衆伝道を意味するのでしようか。
- 使徒の賜物は今でも教会の中に見いだされますか。それとも、これは久しくすたれてしまったのでしようか。
- 寄付の賜物を持つには、どの程度の金持ちであればいいでしょうか。
- あなたは金持ちでありながら、しかも寄付の賜物を持つことができますか。
- 地方教会では、助けの賜物ほどの位重要でしょうか。